

RS_Base 設定方法

1. RS_Base に必要なファイルをコピーします

RS_Base は、1 台の PC だけでも使用できますが、ネットワーク上の複数の PC でクライアント/サーバ方式の運用も可能です。ここでサーバとは、RS_Base のデータを保存する PC という意味です。データは、ごく一部の設定ファイルを除きすべてサーバに保存されます。ネットワークの基礎的な知識があれば、設定は難しくありません。それぞれの PC に RS_Base を設定し、各々で簡単な設定をすれば使用できるようになります。

RS_Base を設定するには、DVD より

Apache24 (web サーバソフト)
usr(perl5 プログラム言語)
Users¥rsn ¥ public_html (RS_Base プログラム本体)

を設定するドライブにコピーする必要があります。

C ドライブで設定する場合

- ① C:¥apache24
- ② C:¥usr
- ③ C: ¥ Users(ユーザー) ¥rsn ¥ public_html

D ドライブで設定する場合

- ①D:¥apache24
- ②D:¥usr
- ③D: ¥ Users¥rsn ¥ public_html

E ドライブで設定する場合

- ①E:¥apache24
- ②E:¥usr
- ③E: ¥ Users¥rsn ¥ public_html

となります。

※上記 3 つのファイルは同じドライブで設定しないと動作しませんので、設定の際はご注意ください。

Apache24

【手順 1】

DVD 内の「RS_Base ファイル」フォルダを開き、Apache24 をコピーします。

(※)Apache24 は RS_Base を設定するドライブによりファイルが違います。設定するドライブの Apache24 を利用してください。

C ドライブで設定する場合

「Apache24_C」フォルダを開き、「Apache24」フォルダを C ドライブへコピーをします。

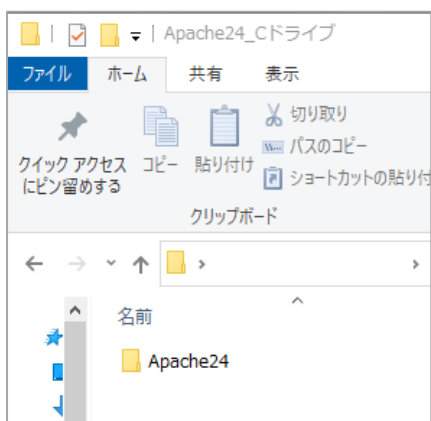
D ドライブで設定する場合

「Apache24_D」フォルダを開き、「Apache24」フォルダを D ドライブへコピーをします。

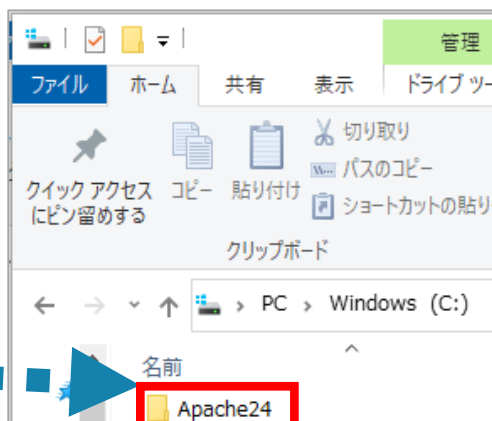
E ドライブで設定する場合

「Apache24_E」フォルダを開き、「Apache24」フォルダを E ドライブへコピーをします。

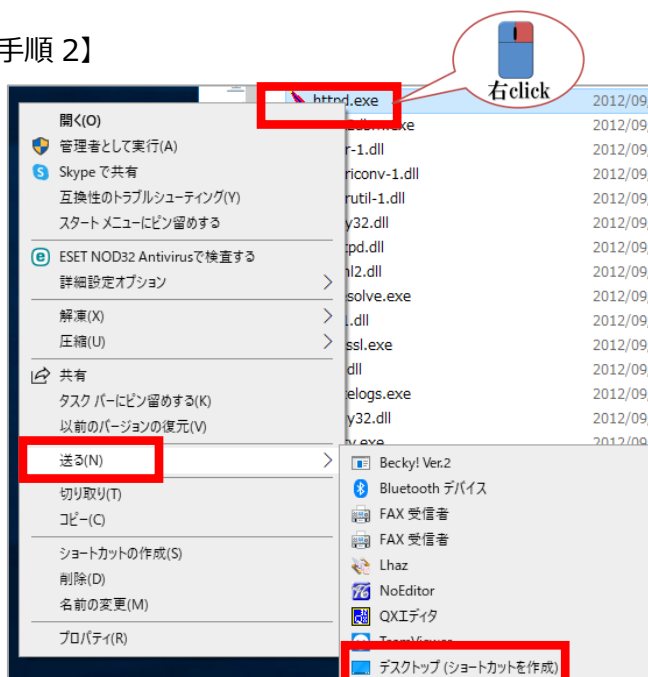
DVD 側



パソコン側



【手順 2】



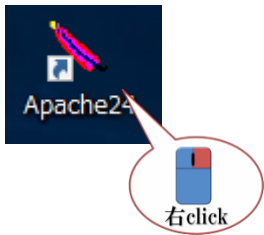
コピーした[Apache24]→[bin]の順にフォルダを開き、[httpd.exe]をデスクトップにショートカットを作成します。

[httpd.exe]を右クリックし、表示されるメニューから「送る」⇒デスクトップ(ショートカットを作成)の順にクリックすると作成されます。

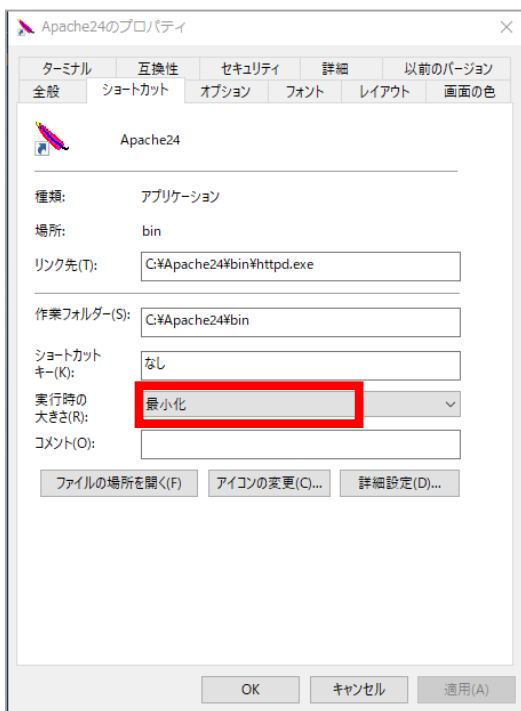
※[httpd.exe]をショートカットしたら、ショートカット名を「Apache24」にさせていただくとわかりやすいです。以下、「Apache24」で説明をさせていただきます。

【手順3】

デスクトップに作成したApache24(httpd.exeのショートカット)をスタートアップに登録します。



- ① スタートアップに登録する前に「Apache24(httpd.exeのショートカット)」の[実行時の画面の大きさ]を設定します。「Apache24」ショートカットの上で右クリックし、プロパティを表示させます。



- ② ショートカットタブの [実行時の大きさ(R) : 最小化] を選択し、OK ボタンをクリックします。

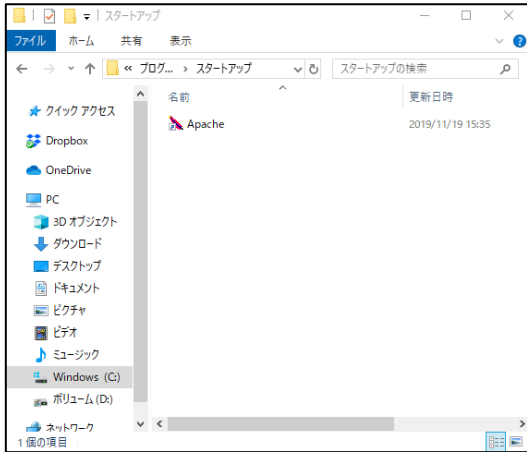
- ③ スタートアップを開きます。

(windows10の場合)

C:/ユーザー名/AppData/Roaming/Microsoft/Windows/Start Menu/Programs/Startup
にスタートアップがあります。

(windows7の場合)

Windows の画面左下にある [スタート] ボタンをクリックし、 [すべてのプログラム(P)] へカーソルを移動 [スタートアップ] を選択したまま【右click】で [開く(O)] をクリックします。



- ④ 開いた [スタートアップ] にApache24のショートカットのコピーを貼り付けます。

【手順4】

Apache24を起動します。（初回のみ）

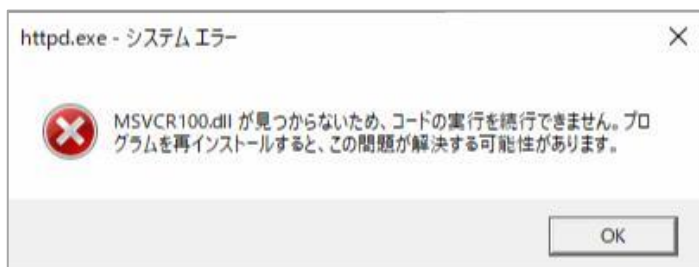
ダブルクリックしてApache24を起動すると上記②で最小化に設定したので、Apache24はタスクバーに表示されます。



※【手順3】でApache24のショートカットをスタートアップに設定したので、次回よりパソコンを起動すると自動的にApacheが開きます。

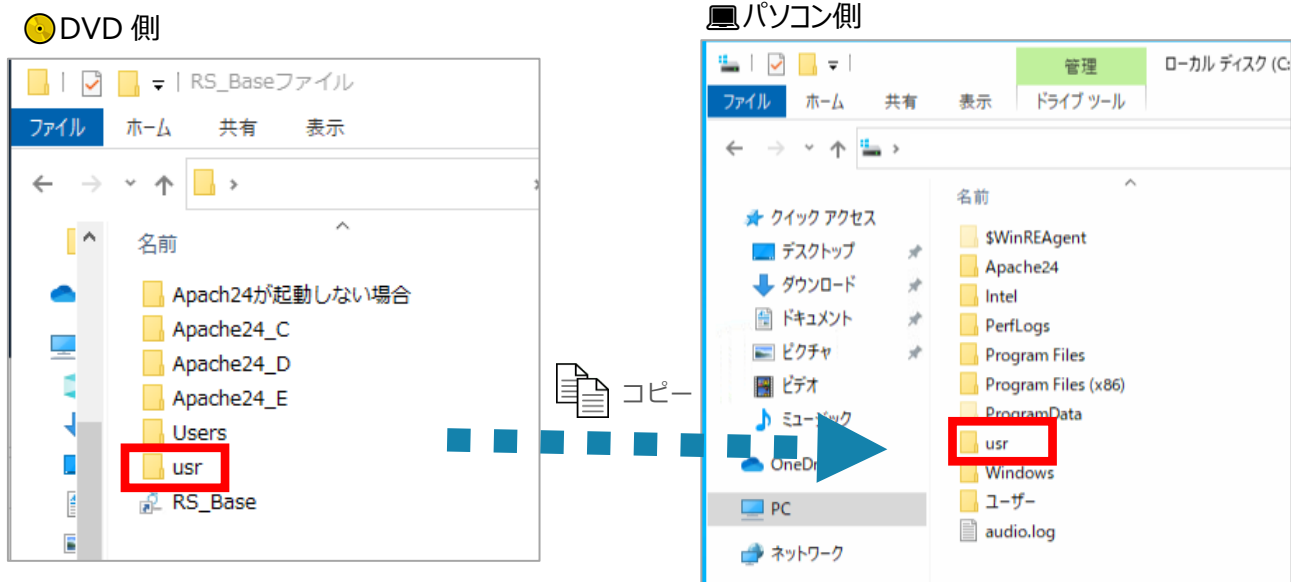
【注意】

Apache24を起動した際に、「httpd.exe-システムエラー」が出てApache24が起動しない場合は、RS_Base設定ファイル内の「Apache24が起動しない場合」フォルダにある[vcredist_x86.exe]を実行後、Apache24を起動してください。



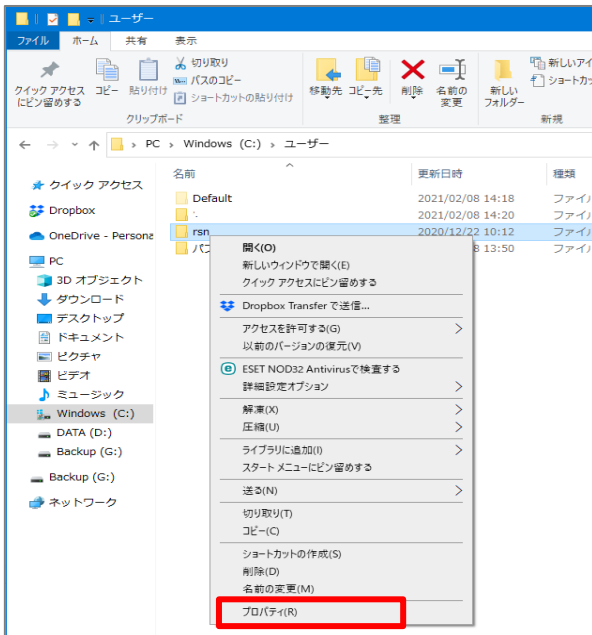
DVD の「RS_Base ファイル」フォルダを開き、[usr]をドライブの直下にコピーをします。

※[usr]は各ドライブ共通です。

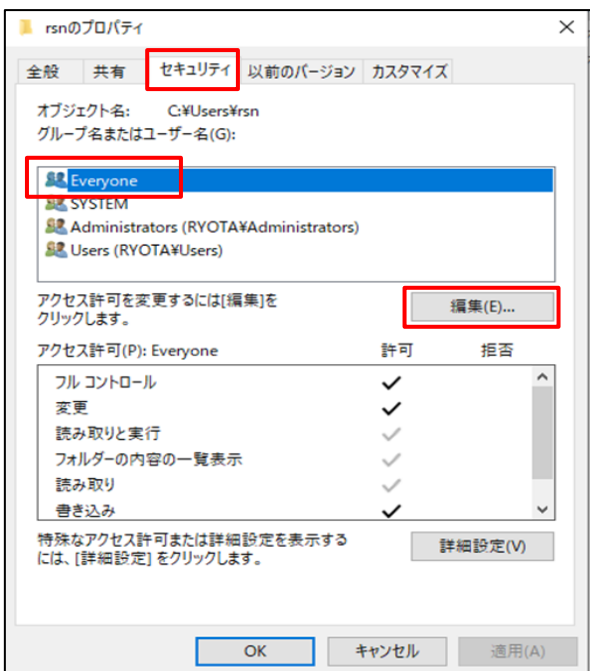


Cドライブで設定する場合

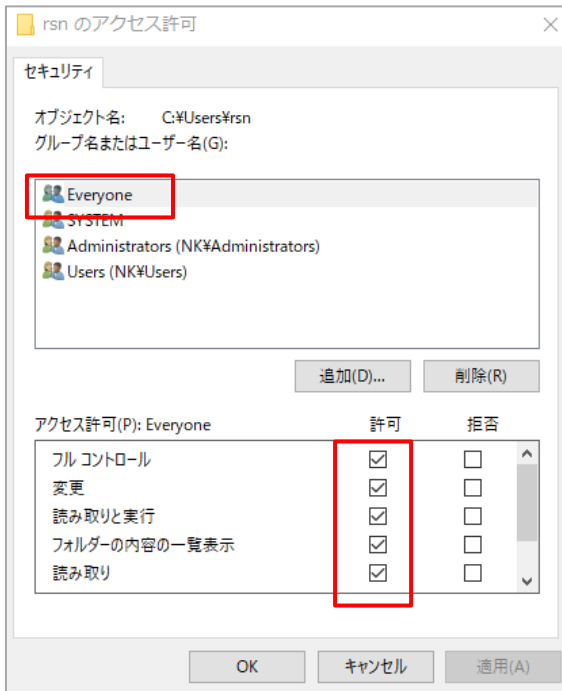
CドライブのUsers（ユーザー）へコピーする場合、window7 以降の OS の場合は、RS_Base が使用する Cドライブの「ユーザー」フォルダにアクセス制限がかかっているため、解除してからコピーをする必要があります。この設定を行わないと、RS_Base が表示されません。



- ① Cドライブ¥ユーザー(Users)を開き、「rsn」フォルダを新規作成してください。その後、rsn フォルダを右クリックし、「プロパティ」を開きます。



- ② [セキュリティ]タブ→[グループ名またはユーザー名(G)]の一覧の(Everyone)を選択し、【編集】をクリックします。

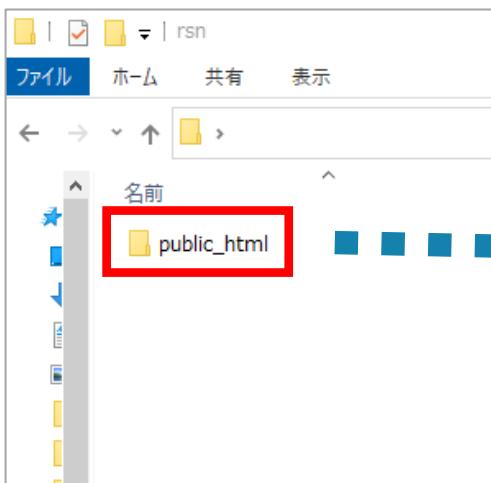


- ③ [グループ名またはユーザー名(G)]の一覧の (Everyone)を選択し、アクセス許可欄の全てにチェックをいれます。全てにチェックをいれた後は (フルコントロール)(変更)(書込み)などにチェックが入ります。

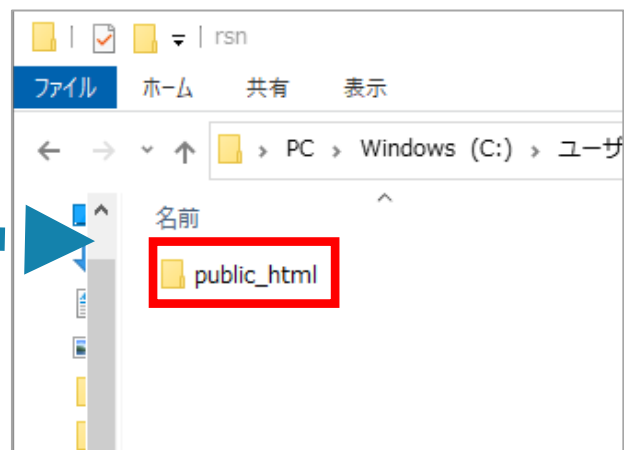
※Everyone がない場合は追加ボタンにて作成してください。

- ④ DVD の「RS_Base ファイル」にある[Users]→[rsn]の順にフォルダを開きます。
rsn フォルダにある[public_html]をパソコン側で作成した[rsn]フォルダを開きコピーをします。

● DVD 側

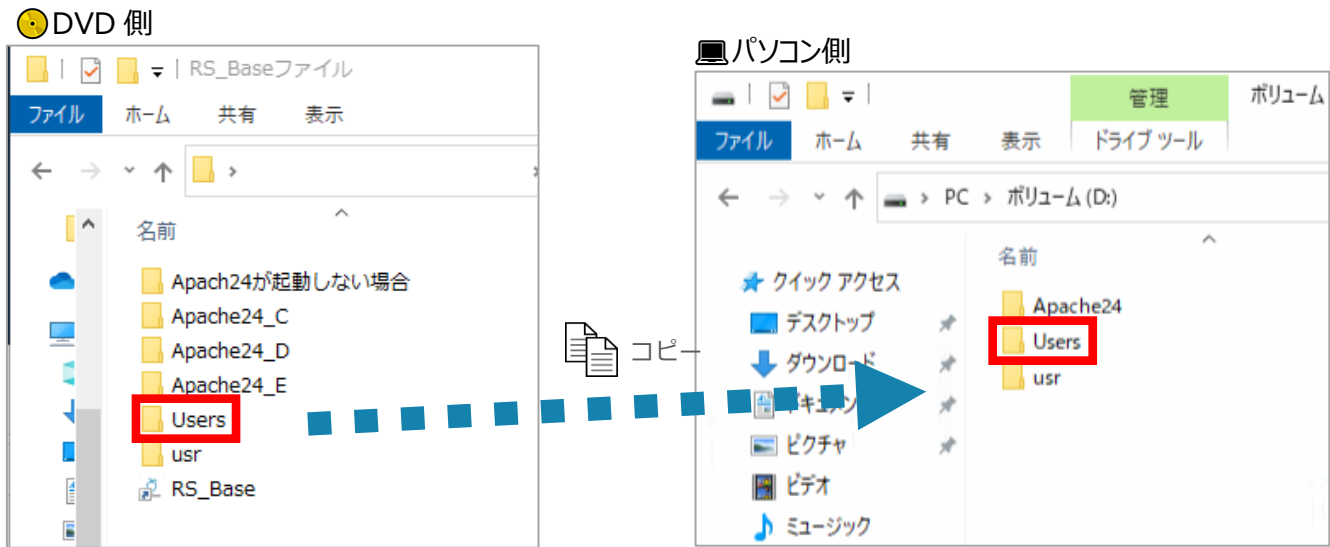


■ パソコン側



Dドライブ、Eドライブで設定する場合

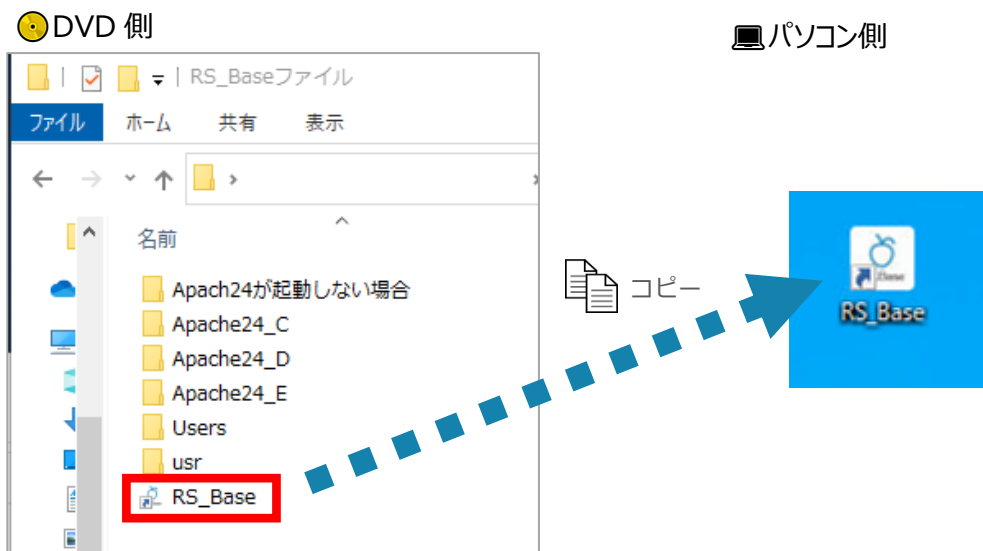
DVDの「RS_Baseファイル」にある[Users]フォルダをDドライブまたはEドライブへコピーします。



2. RS_Base を起動します。

【手順1】

DVD内のRS_Baseのショートカットをデスクトップにコピーします。



【手順2】

デスクトップにコピーしたRS_BaseショートカットをダブルクリックするとRS_Baseが起動します。

※Apache24が起動していないとRS_Baseは開きませんので、必ずApache24を起動してからRS_Baseを開いてください。

RS_Baseは、2017年より新しいデザイン(New画面)でのご提供を開始しております。

DVD内にあるRS_Baseショートカットは、(New画面)となっております。

従来の画面(旧画面)でRS_Baseをご利用頂く場合は、URLを (**<http://localhost/~rsn/2000.cgi>**) に変更し、ショートカットを作り直してください。

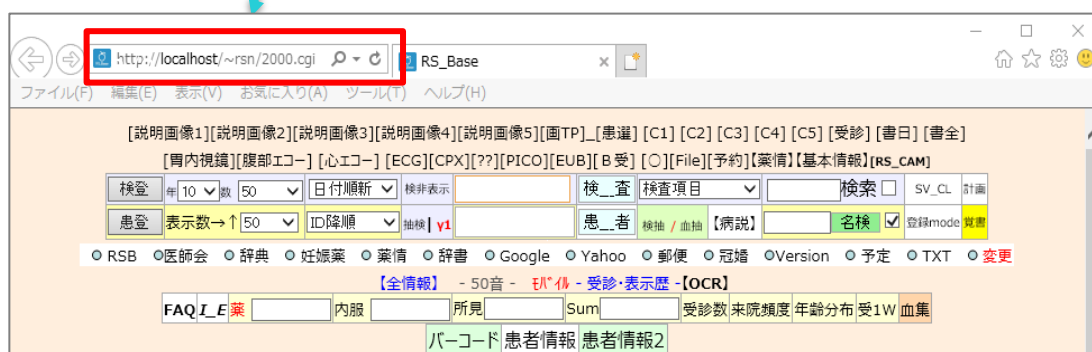
【New画面】 <http://localhost/~rsn/N2017.cgi>



(9) 【画面表示方法】 5

※New画面をお使いの場合は、上図「基本情報」をクリックし、(9)【画面表示方法】を「5」に設定してお使いください。(初期値は「5」に設定しています。)

【従来画面(旧画面)】 <http://localhost/~rsn/2000.cgi>



3. 基本情報の設定

1. 「RS_Base」の基本情報を開きます。

(New画面) <http://localhost/~rsn/N2017.cgi>でRS_Baseを利用の場合

☆RSB	画像	血液	所見	診療	血入
家族	処方歴	薬歴2y	オーダ	レフケラ	紹介状
書類	血List	基本情報	登録情報	血液読込	各種検索

(旧画面) <http://localhost/~rsn/2000.cgi>でRS_Baseを利用の場合

[説明画像1][説明画像2][説明画像3][説明画像4][説明画像5][画TP][患選][C1][C2][C3][C4][C5][受診][書日][書全]
[胃内視鏡][腹部エコー][心エコー][ECG][CPX][??][PICO][EUB][簡易][B受][O][File][薬情][基本情報]

検査	年 10 ↓ 数 50 ↓	日付順新 ↓	検索表示	ID	検査表示	検査項目 ↓	検索	SV_CL	計画		
患者	表示数 → ↑ 50 ↓	ID降順 ↓	抽換	▼ 1	ID	患者表示	抽換 / 血抽	病説	検索	登録mode	覚書

2. 「基本情報」画面が起動します。該当する番号に設定をしてください。

Go Back To RS_Base

(a) 【排他処理ホルダの削除】

(b) 【Internet ExplorerのRS_Base用の設定】

(c) 【Memorial Dayの登録】【個人別Importantの登録】

(d) 詳しい登録情報表示(Click Here)

(e) 【C:/Users/rsn/public_html】のRS_Baseが動作しています

(f) 【Strawberry版 Perl5.10 が動作しています。(2038年問題非対応版)】

【重要】本ソフト(RS_Base)のご利用には、(株)Medical-In に毎年のサポート費用が必要になります。お支払いいただけない場合は、不正利用になります。【詳しくはこちらをクリック】

注) お支払いいただいている医療機関様にも本メッセージは表示されています。

<http://localhost/~rsn/N2017.cgi> からのアクセスです。

RS_Baseで使用させていただいているフリーソフトです。(必ずHPをのぞいてください)
© Pixia(画像ソフト) © IrfanView(画像ソフト) © (圧縮、解凍ソフト) ©
© Apache(Web Server) © strawberryperl5.10 © ActivePerl5.6 © ViX(画像ソフト) ©

スタンドアローンの設定

RS_BaseサーバーのHDドライブは共有及びセキュリティーで everyoneをフルコントロールにしてください(LAN on時)。

**RS_BaseをCドライブで動作させる場合は、
C:¥ユーザー¥rsn ホルダーのセキュリティーのフルコントロール設定が必要**

LAN off の場合は、(11) off、(12) 空欄、(13) ドライブ名、(14) localhost

(11)	LAN(ON,OFF)	off ▼
(12)	RS_Baseサーバーのネットワーク上の名前 or サーバーIPを指定	
(13)	RS_Baseサーバーの共有ドライブ名 【共有ドライブ名は、C、D、Eなどアルファベット一文字が安全】	C
(14)	RS_BaseサーバーのIP Address	localhost

(15) Apache のPort番号 (通常空白)

(11) = OFF

(13) = RS_Base を設定したドライブ名

(14) = localhost

複数台での設定

(サーバーの設定)

RS_BaseサーバーのHDドライブは共有及びセキュリティーで everyoneをフルコントロールにしてください(LAN on時)。

**RS_BaseをCドライブで動作させる場合は、
C:¥ユーザー¥rsn ホルダーのセキュリティーのフルコントロール設定が必要**

LAN off の場合は、(11) off、(12) 空欄、(13) ドライブ名、(14) localhost

(11)	LAN(ON,OFF)	on ▼
(12)	RS_Baseサーバーのネットワーク上の名前 or サーバーIPを指定	192.168.50.90
(13)	RS_Baseサーバーの共有ドライブ名 【共有ドライブ名は、C、D、Eなどアルファベット一文字が安全】	D
(14)	RS_BaseサーバーのIP Address	192.168.50.90

(15) Apache のPort番号 (通常空白)

(11) = ON

(12) = RS_Baseサーバーの PC の名前またはIPアドレス

(13) = RS_Baseを設定したドライブ名

(14) = RS_Baseサーバーの IP アドレス

(クライアントの設定)

RS_BaseサーバーのHDドライブは共有及びセキュリティーで everyoneをフルコントロールにしてください(LAN on時)。

**RS_BaseをCドライブで動作させる場合は、
C:¥ユーザー¥rsn ホルダーのセキュリティーのフルコントロール設定が必要**

LAN off の場合は、(11) off、(12) 空欄、(13) ドライブ名、(14) localhost

(11)	LAN(ON,OFF)	on ▼
(12)	RS_Baseサーバーのネットワーク上の名前 or サーバーIPを指定	192.168.50.90
(13)	RS_Baseサーバーの共有ドライブ名 【共有ドライブ名は、C、D、Eなどアルファベット一文字が安全】	D
(14)	RS_BaseサーバーのIP Address	192.168.50.90

(15) Apache のPort番号 (通常空白)

※サーバでの設定と同じ設定にしてください。

病院情報の設定

病院情報を登録します。


(267)	貴院の郵便番号	<input type="text" value="732-00XX"/>	住所	<input type="text" value="広島市東区牛田南"/>		
(268)	病院名	<input type="text" value="〇〇クリニック"/>	お名前	<input type="text" value="山下〇〇"/>	携帯電話	<input type="text" value="090-x11-22222"/>
(269)	電話番号	<input type="text" value="08x-111-11111"/>	FAX番号	<input type="text" value="08x-111-22222"/>	メールアドレス	<input type="text" value="rsc@k.net"/>

検査歴表示画面の設定

DVD で設定した場合、初期値は「5」になっております。

(9) 【画面表示方法】 ▼ ☆患者画面リンク、R検を新画面にする ▼

【画面表示方法】5 の場合

	2021/09/27 (004) 胸部写真 <input type="button" value="追加"/>	ID: 999 7777 777 (47) 山田 太郎 (男)	<input type="checkbox"/> 【変更】 244 <input type="button" value="診断 (Rd) 診 16:30"/>
---	---	---------------------------------------	--

※従来の画面（旧画面）を使用している場合は、

上記の【画面表示方法】 1または2 ☆患者画面リンク、R検を新画面にする を no に変更してください。

以上で RS_Base の基本設定が完了です。

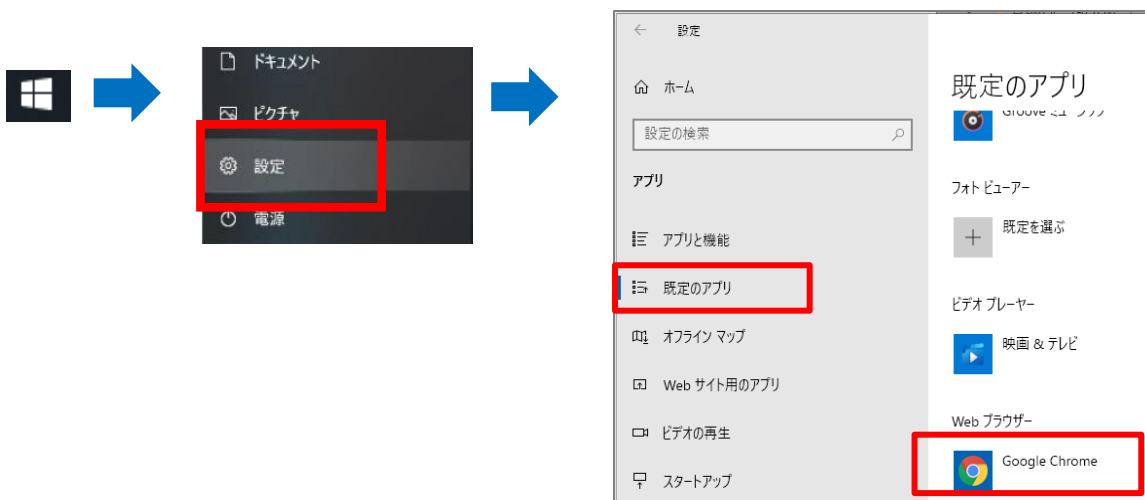
4. その他 (ブラウザの設定)

2022年6月よりInternet Explorerが終了となります。RS_Baseを利用する場合は、「Google Chrome」か「Microsoft Edge」でご使用ください。(ご利用のパソコンによっては、引き続きInternet Explorerでの表示ができる場合があります。)

■ Google chrome で RS_Base を利用する場合

1) 既定のアプリの設定

Windows10では既定のアプリが「Microsoft Edge」となっておりますので、既定のアプリを「Google chrome」に設定をしてください。



2) ポップアップブロックの解除

1. ①chrome の設定から②「設定」をクリックします。



2. ③プライバシーとセキュリティ をクリックし、④「サイトの設定」をクリックします。



3. コンテンツ の ⑤「ポップアップとリダイレクト」をクリックします。



4. ⑥「サイトがポップアップを送信したりリダイレクトを使用したりできるようにする」にチェック●を入れます。
- ⑦ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイトの「追加」をクリックし、
[localhost]や[サーバ IP]を追加します。
- (例) http://localhost
http://192.168.100.10 (サーバ IP アドレスは施設により異なります)

デフォルトの動作

サイトにアクセスしたときにこの設定の動作を自動的に行います

⑥ サイトがポップアップを送信したりリダイレクトを使用したりできるようにする

サイトにポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可しない

動作のカスタマイズ

次のサイトでは、デフォルトではなくカスタムの設定が使用されます

ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可しないサイト 追加

サイトが追加されていません

ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイト ⑦ 追加

サイトの追加

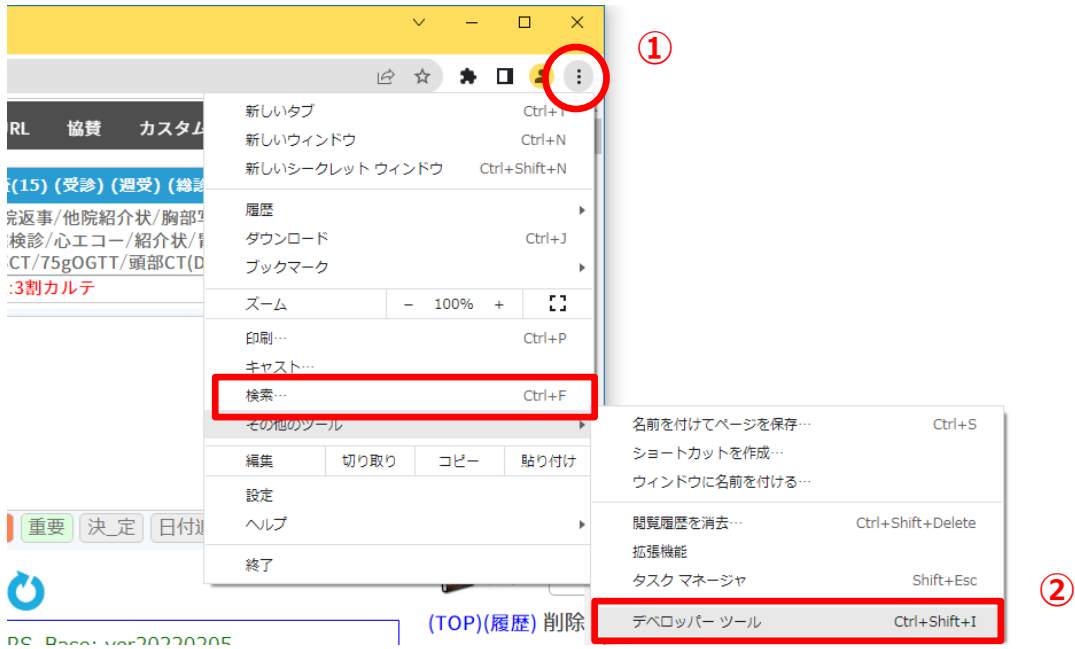
サイト

http://localhost

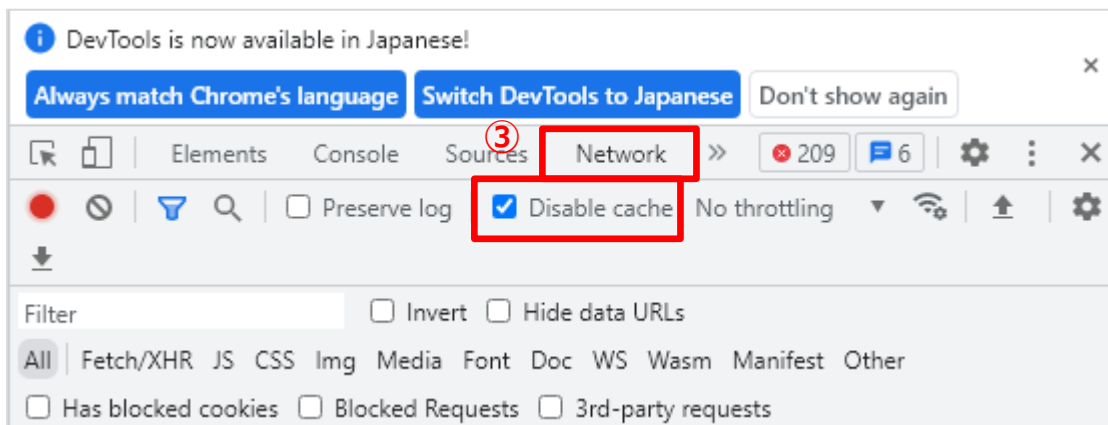
キャンセル 追加

3) キャッシュの設定 1 (chrome の設定)

1. ①chrome の設定から②「その他ツール」の「デベロッパーツール」をクリックします。



2. ③「Network」タブをクリックし、「Disable cache」にチェックを入れます。



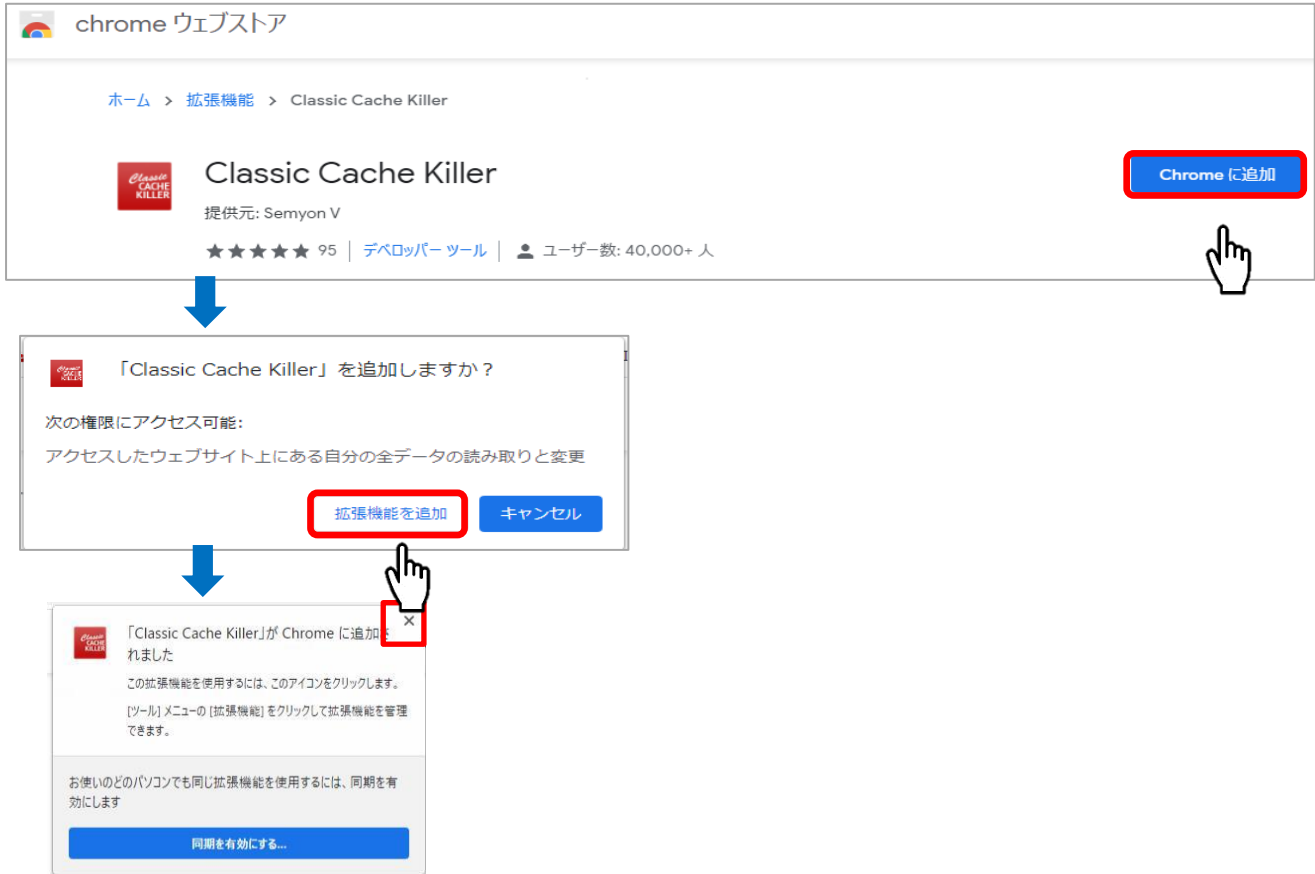
4) キャッシュの設定 2 (拡張機能による設定)

Chrome キャッシュ機能を OFF にする拡張機能を追加します。

1. 「Cache Killer」をインストールします。

chrome を起動し、以下の URL を開き、「Chrome に追加」をクリックします。

<https://chrome.google.com/webstore/detail/classic-cache-killer/kkmknnnjliniefekpicbaaobdnjjikfp>



2. キャッシュ off の設定をします。

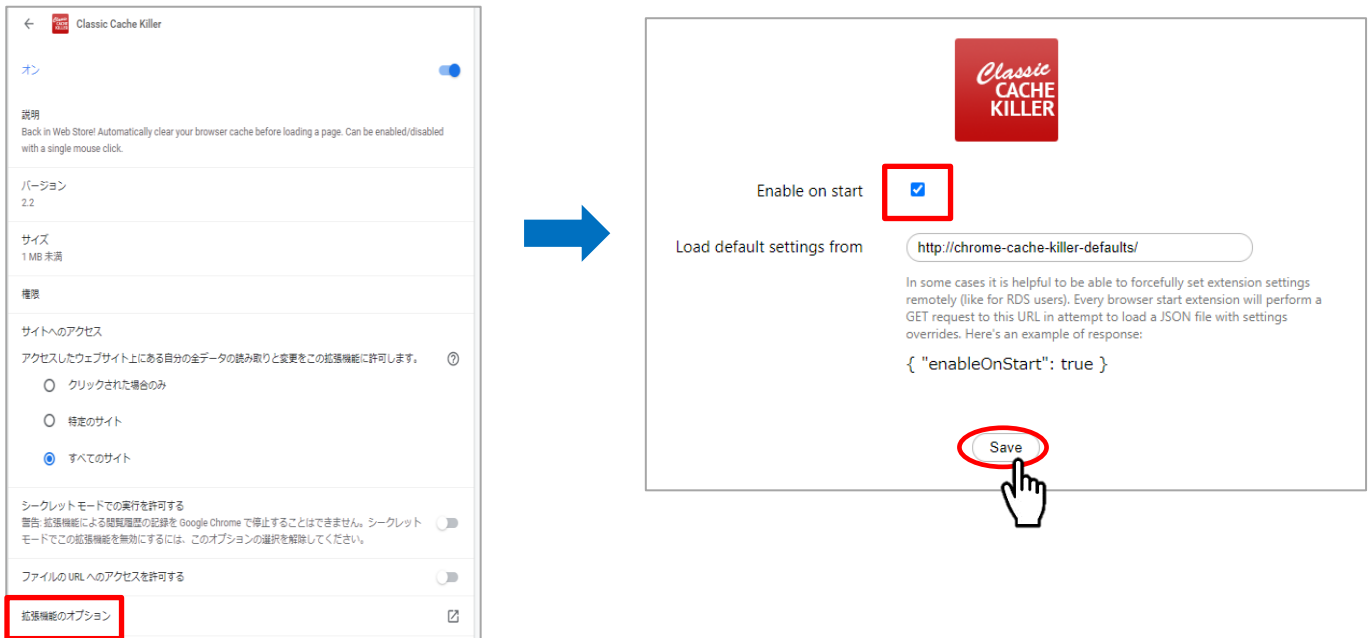
1) ①chrome の設定から②「設定」をクリックします。



2) 左メニューの「拡張機能」を開き、「Classic Cache Killer」の【詳細】をクリックします。



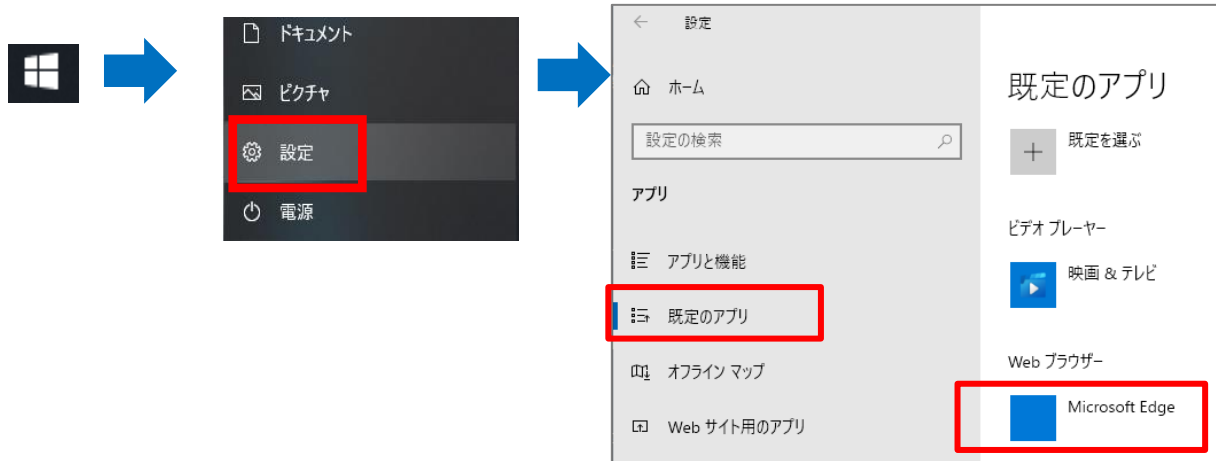
3) 「拡張機能のオプション」をクリックし、「Enable on start」にチェックを入れ、(Save) をクリックします。



■ Microsoft Edge で RS_Base を利用する場合

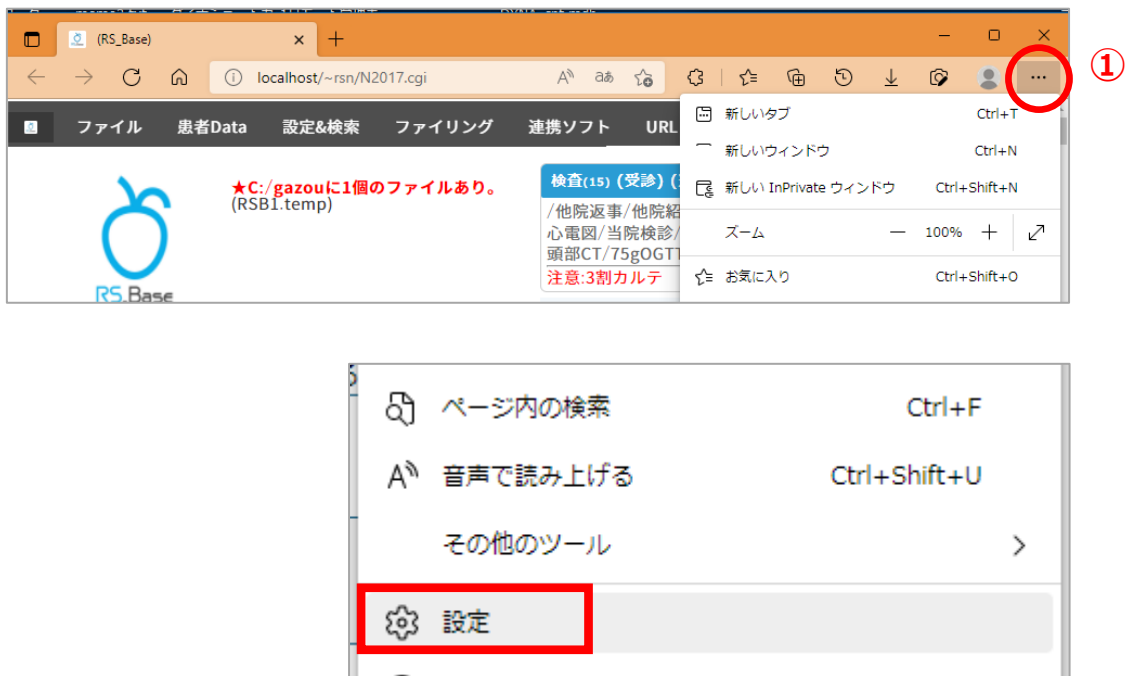
1) 既定のアプリの設定

※Windows10 では既定のアプリの初期値が「Microsoft Edge」になっております。

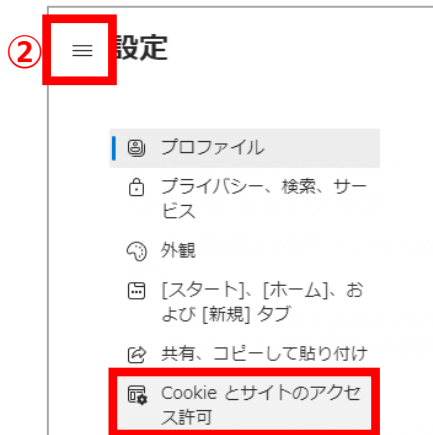


2) ポップアップブロックの解除

1. ①Edge の設定から「設定」をクリックします。



2. ② 三 設定をクリックし、「Cookie とサイトのアクセス許可」をクリックします。



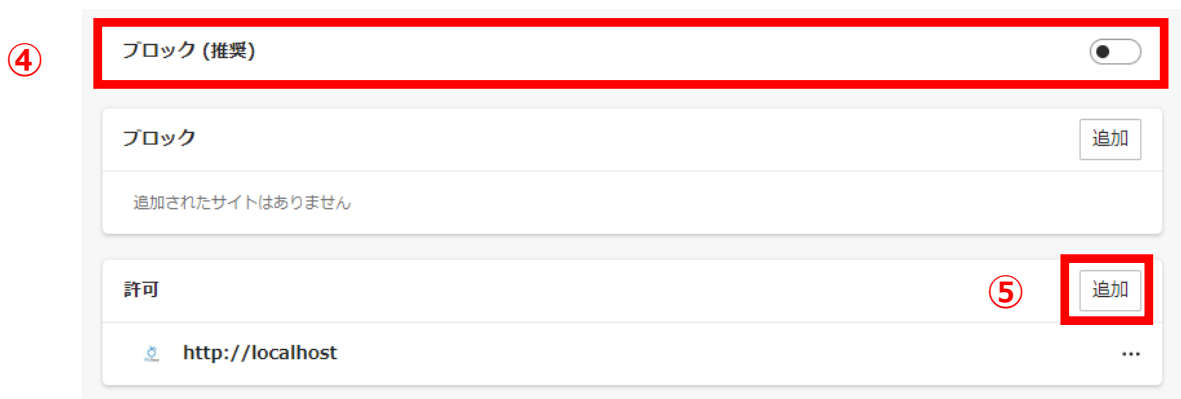
3. すべてのアクセス許可の③「ポップアップとリダイレクト」をクリックします。



4. ④ブロック（推奨）を OFF にするか ON のまま利用する場合は、⑤許可の「追加」をクリックし、[localhost]や[サーバ IP]を追加します。

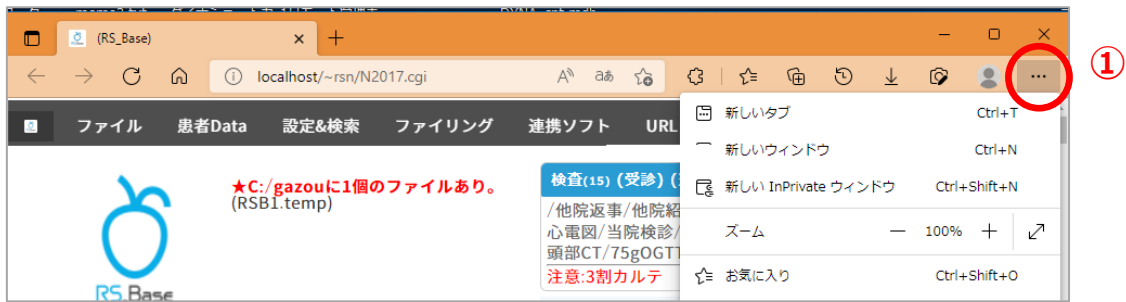
(例) http://localhost

http://192.168.100.10（サーバ IP アドレスは施設により異なります）

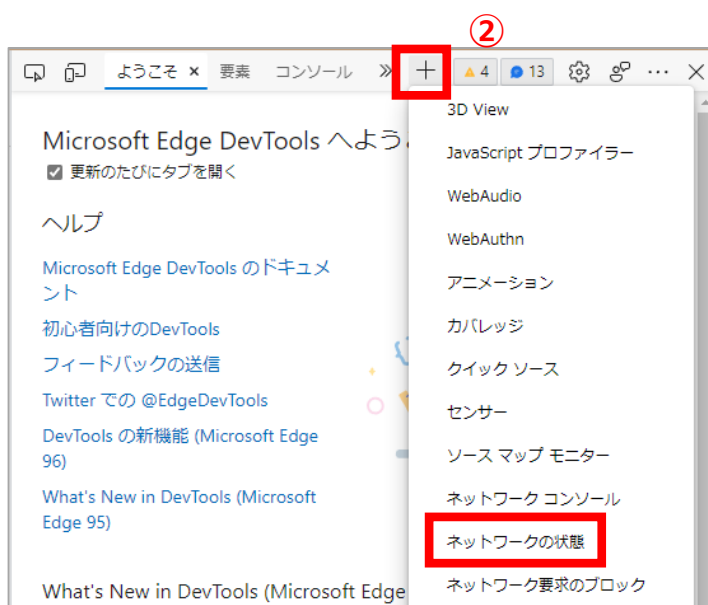


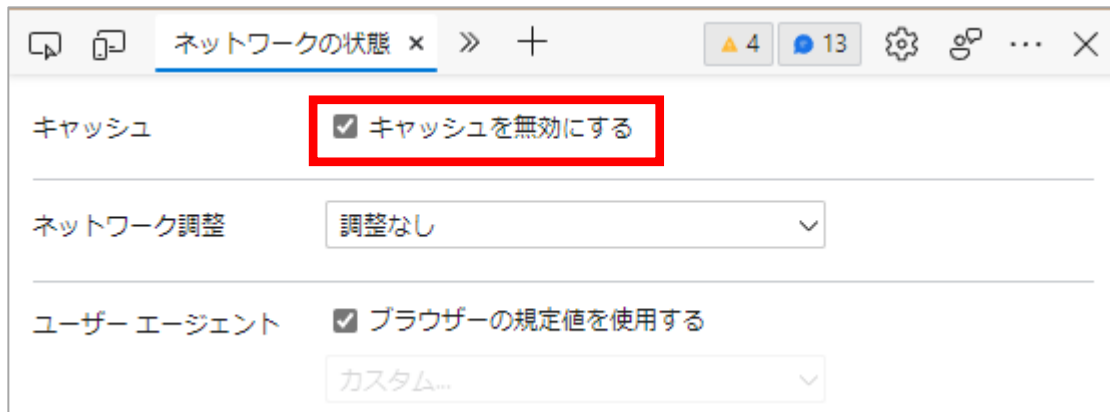
2) キャッシュ

1. ①Edge の設定から「その他ツール」をクリックし、「開発者ツール」をクリックします。



2. ②+ をクリックし、「ネットワークの状態」を選択し、キャッシュを無効にするにチェック☑を入れてください。

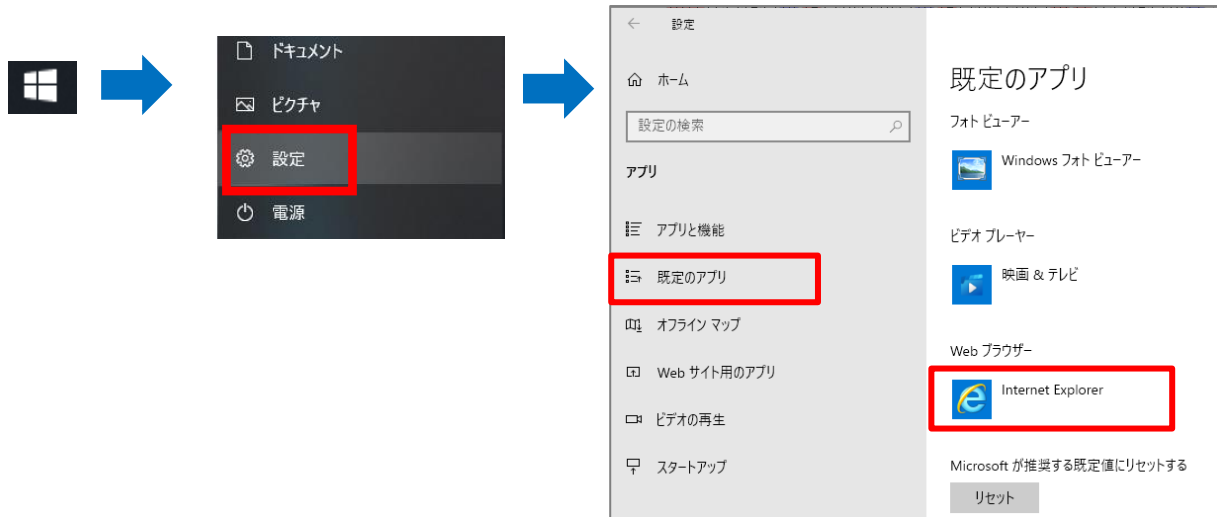




■ Internet Explorer で RS_Base を利用する場合

1) 既定のアプリの設定

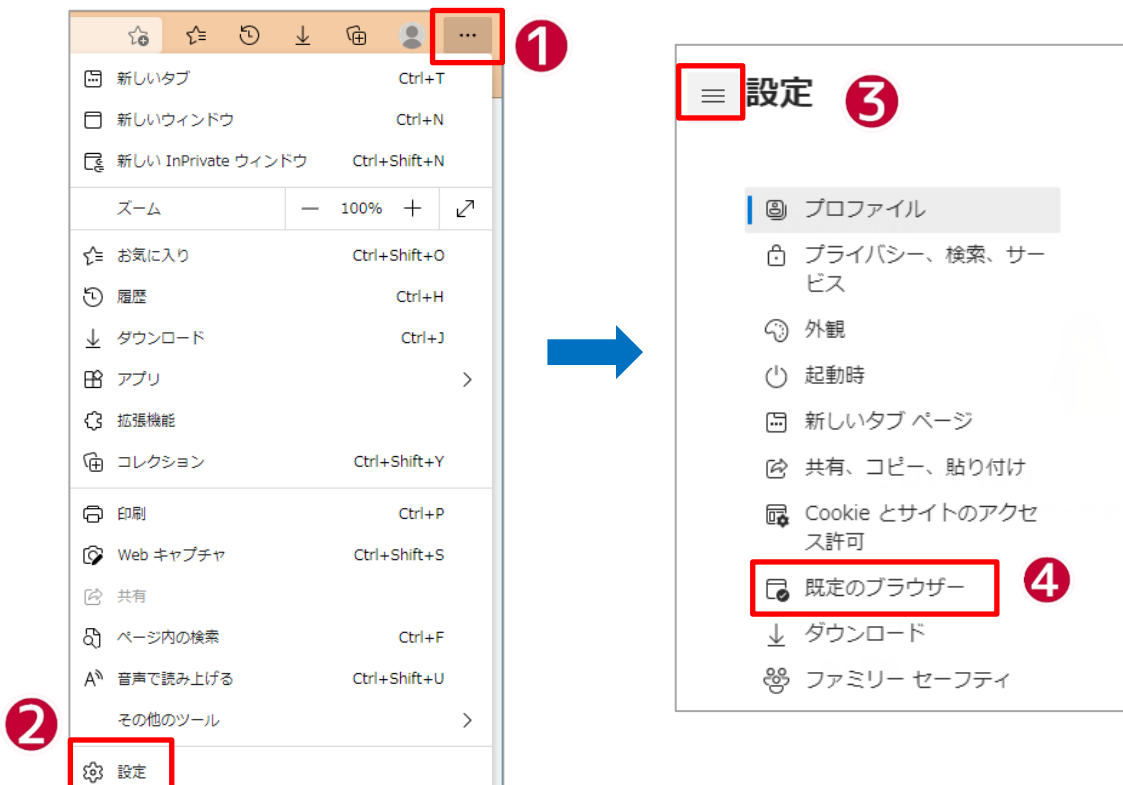
Windows10では既定のアプリが「Microsoft Edge」となっておりますので、既定のアプリを「Internet Explorer」に設定をしてください。



※Windows10のバージョンにより、下記のEdgeの設定が必要な場合があります。

上記1でInternet Explorer で設定してもEdgeで開く場合は、下記の設定をお願いします。

1. Edgeを開き、右上の①[⋮]から②設定をクリックし、設定画面を開きます。
2. ③[≡]から④既定のブラウザーを選択します。
3. ⑤Internet Explorer にMicrosoft Edgeでサイトを開かせるで[なし]を選択します。



既定のブラウザー

Microsoft Edge を既定のブラウザーにする

既定に設定する

Internet Explorer の互換性

Internet Explorer に Microsoft Edge でサイトを開かせる [?]

5

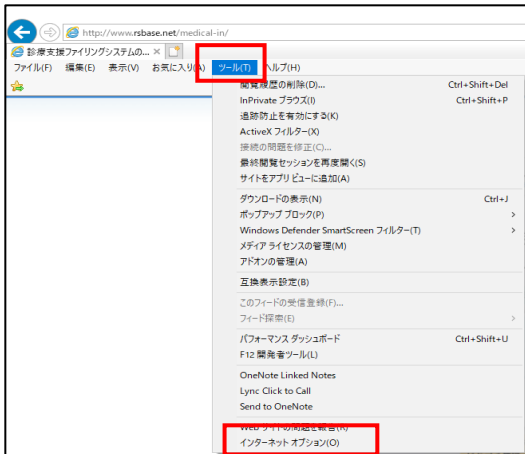
なし ↓

Internet Explorer でブラウズするときに、Microsoft Edge でサイトを自動的に開くように選択できます

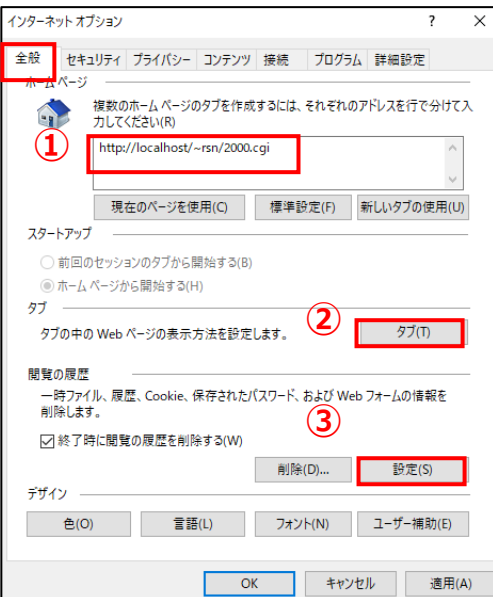
Internet Explorer モードでサイトの再読み込みを許可 [?]



Microsoft Edge でブラウズするときに、互換性を確保するために Internet Explorer が必要な場合は、Internet Explorer モードで再度読み込むことを選択できます。



1. Internet Explorer(以下 IE)の [ツール(T)] クリック [インターネット オプション(O)] を選択します。

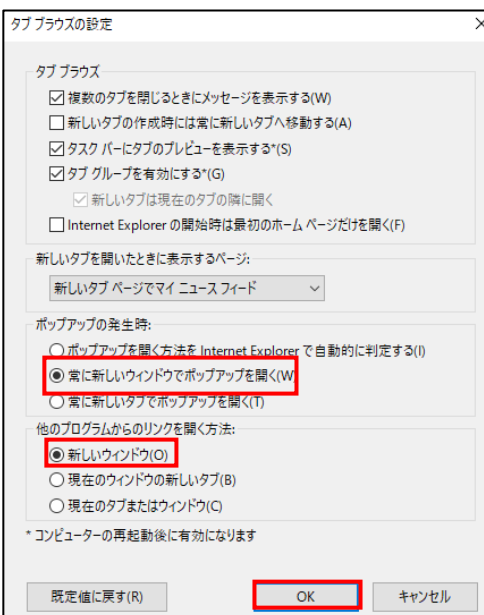


2. インターネット オプションの全般タブを選択し、

①RS_Base を Internet Explorer を表示した際の初期画面 にする場合、<http://サーバIPアドレス/~rsn/2000.cgi> と入力します。

※New画面をご利用の場合は、

<http://サーバIPアドレス/~rsn/N2017.cgi> となります。

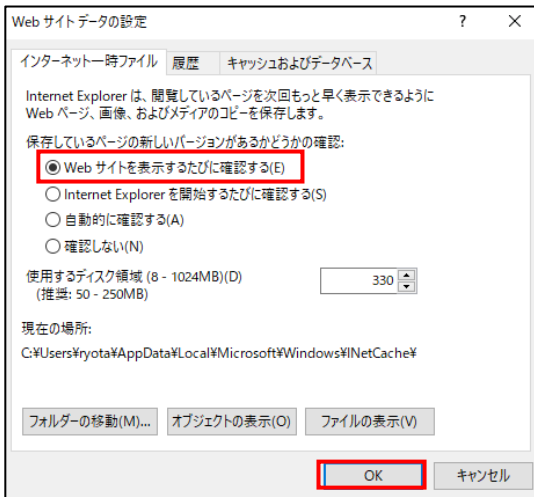


②タブの設定

ポップアップの発生時を、常に新しいウィンドウでポップアップを開く にチェック。

他のプログラムからのリンクを開く方法を、新しいウィンドウにチェック。

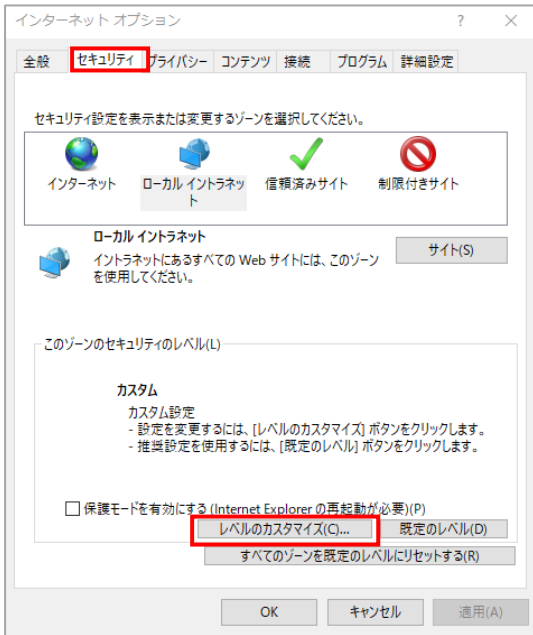
設定後、OK ボタンをクリックします。



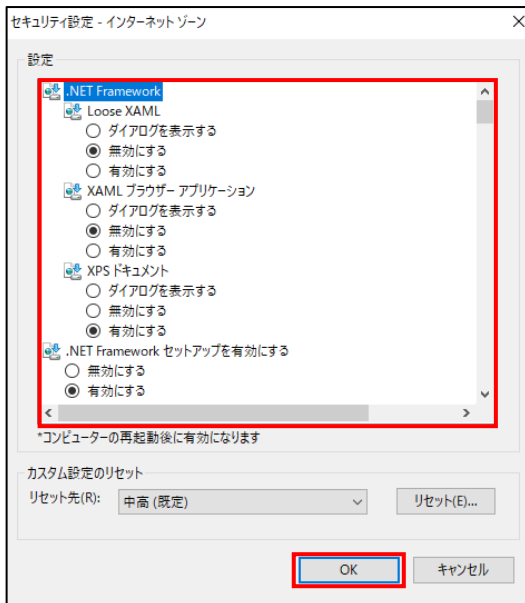
③閲覧の履歴

インターネット一時ファイルと履歴の設定のインターネット一時ファイル内の「Web サイトを表示するたびに確認する(E)」にチェック。

設定後、OK ボタンをクリックします。



3. インターネット オプションのセキュリティタブを選択し、インターネット/ローカル イン트라ネット/信頼済みサイトのいずれかを選択し、(RS_Base の表示されている環境に合わせて設定します。)「レベルのカスタマイズ(C)...」ボタンをクリックします。

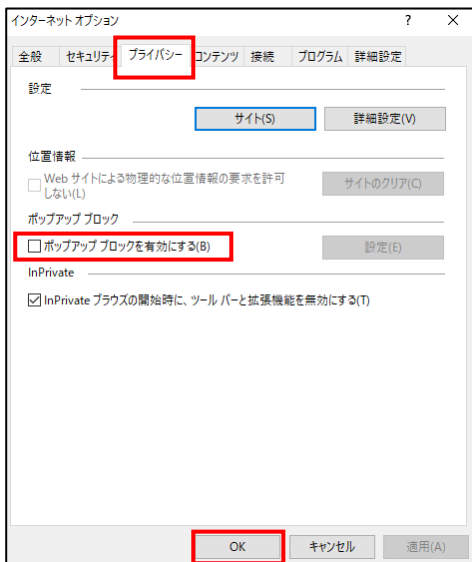


以下の項目にチェックを入れてください。

- ・外部メディアプレーヤーを使用しない web ページのビデオやアニメーションを表示する
【有効にする】にチェック
- ・スクリプトによる貼り付けを許可
【有効にする】にチェック
- ・サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する
【有効にする】にチェック
- ・ポップアップ ブロックの使用
【無効にする】にチェック

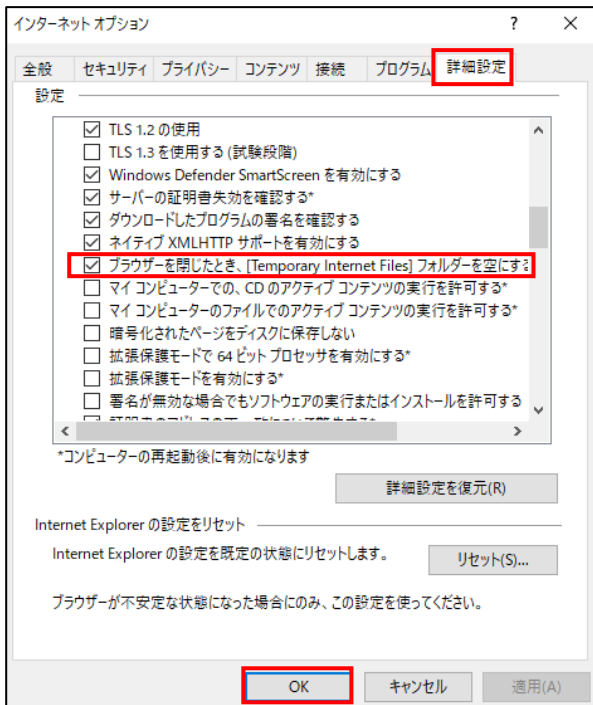
設定後、OK ボタンをクリックします。

・信頼済みサイトに登録をして信頼済みサイトの「レベルのカスタマイズ(C)...」を変更することをおすすめします。



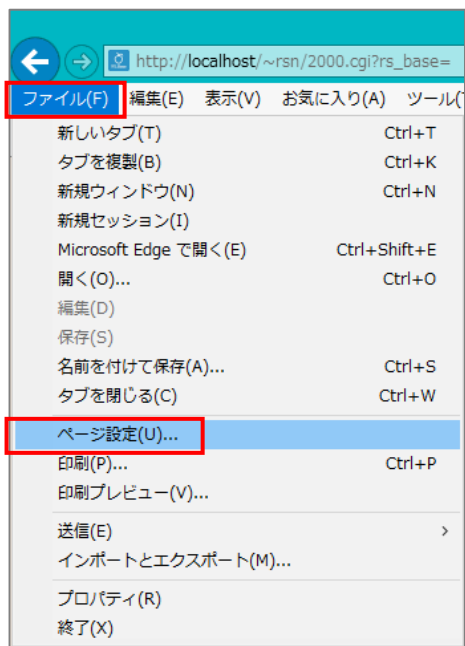
4. プライバシータブを選択し、ポップアップ ブロックを有効にする(B)の チェックを外します。

設定後、OK ボタンをクリックします。



5. 詳細設定タブを選択し、ブラウザを閉じたとき、[TemporaryFiles]フォルダーを空にする にチェック を入れ、OK ボタンをクリックし、インターネット オプションを終了します。

6. Internetexplorer のページ設定を行います。



1. Internetexplorer のファイルの「ページ設定」を開きます。

ページ設定の余白を「10」に

ヘッダーとフッターを「 - 空 - 」に設定をしてください。

※余白は、メディカルインでは「10」で設定をしています。

